

令和2年度予算特別委員会について

1 審査日程

令和3年2月10日（水）～令和3年3月16日（火）

教育委員会関係 / 令和3年2月19日（金）、3月9日（火）

総括質疑・採決 / 令和3年3月16日（火）

2 教育委員会関係の審査内容

別紙「主な質問・答弁」のとおり

【学校施設のエアコン設置について】

- 谷分科員** 体育館のエアコン設置について、今後の活用を伺う。
- 直井次長** エアコンの整備については、今年度、国の補助金も活用して特別教室の一部に整備した。体育館は多額の事業費がかかる。将来的には整備していきたいが、こういった手法があるかなどについてこれから検討していきたい。国の補助金も活用していくことになるが、タイミングも図りながら今後も検討していきたい。
- 坂本分科員** 特別教室にエアコンが整備されているとの答弁だったが、普通教室、特別教室の全てにエアコンが設置されているのか。
- 直井次長** エアコンの整備については、普通教室はすべて完了している。特別教室については、今年度、国の補助も活用し、規模の大きい学校の特別教室の一部にエアコンを設置する予定。残るのは、先ほどの残りの特別教室や、一クラスが 20 人以下の比較的規模の小さい学校の特別教室はまだエアコンの整備はしていない。
- 坂本分科員** これから特別教室も全てエアコンを整備していくということか。
- 直井次長** 全ての特別教室につけてはいきたいが、使用頻度の高い教室から優先的に、また、国の補助の状況もあるので、それらのタイミングも見ながら、全てとはいかないが優先順位をつけながら整備していきたい。
- 坂本分科員** 図書室はどうか。
- 直井次長** 図書室は普通教室と合わせてつけている。

【校内ネットワークの整備について】

- 牛尾分科員** 現状と整備計画について教えていただきたい。
- 國廣部長** G I G A スクールの開始に伴い、全校のネットワークは完了している。来年度は、統合校のネットワーク整備を予定している。
- G I G A スクールは、やってみないと分からないところがあり、通信速度や通信環境、学校の建っている位置など考えないといけない部分、また、大規模校で児童生徒が一斉に使用するとつながりにくい状況などがある。よって、今、通信会社と色々検証して、ネットワークの再築を検討している。
- 牛尾分科員** 実際一斉に使用すると、遅くなったり開かないという問題も出てきているので、確認をしていただきたい。
- 教員が使う校務支援システムについて、現状はどうか。
- 小川次長** 成績帳票や保健帳票等をどんどん活用している。スムーズに進んでいる。
- 牛尾分科員** どの学校に行っても同じ要領で使えるので校務が楽になるので、継続してほしい。
- 大道分科員** 一斉につないだら遅延するということは、事業者の責任は考えられないのか。
- 國廣部長** 試算して予測を持って整備しているが、実際にやってみて、通信環境のやり方の工夫がこれから必要であると考え。例えば、モバイルルーターでやる、5 G のアンテナを建てる、アクセスポイントの再整備などが考えられる。今、通信会社と共に各学校を回って、通信速度や改善策を検討しているところである。
- 大道分科員** あらかじめこの状況になるのは分かったと思う。大規模都市の大規模校などがどうされて

いるのか、その辺りの調査研究に基づいて発注されていたと思う。通信会社とやっていること、メーカーが大事と思うが、このようなことが起こらない設計を十分検討していただきたい。

岩崎分科員 小中規模の学校でも一斉に開くと円滑にできないというのがある。これは、今発注の事業の中で、改善策まで組み込まれるのか、新たに契約し直すのか。

國廣部長 改善策は新年度予算に組み込まれていない。今検証作業中で、どの方法が一番良いのか確かめた上で、早期に補正をお願いしたいと思っている。

岩崎分科員 設計業務は向こうの方に入っていたのではないかと思うが、設計が悪かったということにならないのか。

國廣部長 ある程度、全児童生徒が一斉につながるとつながりにくい予想はしていた。そのため、今まで市役所に集約してインターネットにつないでいたものを、う回路を通して各学校から直接タブレットにつなげる方式を採用して緩和策を取っていた。国も全国の状況を見て、学校から直接インターネットにつなが時の補助金を用意されている。よって、ある程度予測していたが、実際使ってみないと分からないところがあり、さらなる改善策を講じる検討をしている。

岩崎分科員 ある程度予測されていたこと、また、以前の答弁では大丈夫だと答弁されていた経緯がある。企業の責任がある程度あるので、行政としてしっかりと態度を示していただきたい。

【平岩小・磯松中の仮設校舎について】

石原分科員 平岩小と磯松中の仮設校舎について、2校について将来の見通しは？

一時的なものか、増築がかなわないから仮設なのか？

短期間ならリースの方が安いだろうが、プレハブではなくちゃんとした校舎の方がいいという声もある。2校はどういう見通しで仮設校舎の建設に決まったのか。

直井次長 仮設校舎の建設の前に、まずは多目的教室などが普通教室に転用できないか検討している。平岩小と磯松中は、今後の児童生徒数の増加見込みを見た時に、普通教室へ転用できる部屋が不足しており、2校については仮設教室を建てることとした。

石原分科員 教室が不足するから仮設校舎を建てるということだが、期間的にはどの程度を考えているか。

直井次長 平岩小は、現在13教室であるが、今後、令和6年度までに最大で18教室まで増える見込み。

磯松中は、現在11教室であるが、令和8年度の見込みでは15教室まで増える見込み。今の教室数では足りないことから仮設教室を建設するもの。

石原分科員 ずっとリースなのか。いつまでリースで行くのかを聞いている。

直井次長 両校とも令和8年度ぐらいまでは、仮設校舎で対応する予定である。

それ以降については、今後の児童推計を見ながら継続するかどうかの検討を行う。

石原分科員 令和8年度ぐらいまでは増えるが、ずっと増え続けるという推計ではないので、仮設で対応し、今後また考えるということですね。これから35人学級になる中で、しっかり検討はされていると思うが、令和8年度以降の計画は今のところまだないというように理解した。

中川議員 磯松中が増えるということは、川上小も増えている。学校周辺が造成され、児童数が増え

と思われる。川上小学校は予算に上がっていないがどういう状況か。

直井次長 川上小は来年度グラウンド整備の予算を上げている。

校舎もかなり狭い状況で、なおかつ老朽化も進んでおり、改修が必要な状況である。

新しいグラウンドの整備が進み、そちらが使用できるようになった後に、現在の校舎を改修するのか、増築するのか、仮設校舎で対応するのかを検討している。川上小はグラウンド整備と併せて校舎をどうするのか検討している。それが決まり次第、必要な予算を上げさせてもらいたい。

【スペシャルサポートルームについて】

牛尾分科員 現在、何人がスペシャルサポートルームを使っているのか。

小島課長 現在、スペシャルサポートルームを小学校2校、中学校2校で設置している。中学校は、2月末現在で15人と10人、小学校は10人と7人の児童生徒が使用している。

牛尾分科員 心のサポーターについて拡充になるのか。

小島課長 現在、スペシャルサポートルームは中学校2校、小学校2校だが、来年度、小学校中学校それぞれ1校ずつ増やして、中学校3校、小学校3校にする予定であるため、心のサポーターも拡充となる。

牛尾分科員 スペシャルサポートルームを使っている方から、とても使いやすいと聞いた。(スペシャルサポートルームが)ない学校においても、保健室で対応したり、校長先生が対応したりして、とても対応がよいと聞いている。今後も拡充をお願いします。

【各学校のSDGsの取組みについて】

大道分科員 SDGsに係る予算はないが、各小中学校の取組についてどのような指導をしているか。

小川次長 校長や教員に対して、本市が「SDGs未来都市」に指定されたことを伝え、SDGs17の目標に照らし合わせて取り組むよう指導している。代表的な学校としては、3校が環境、人口減、ゴミ処理等の問題に取り組んでおり、今後各学校へ普及していく。

大道分科員 SDGsをテーマにしたカードゲームもある。子どもたちも楽しく学べると思うので、検討してもらいたい。

【自転車通学生徒のヘルメット購入費補助について】

谷分科員 補助率7割だが、7割の基準はどう決まったのか。

神笠課長 ヘルメットの購入費の補助は7割が市負担、3割が保護者負担となっている。その根拠として市の基準に沿って7割補助としている。

谷分科員 以前は5割だった記憶があるが、いつ頃7割になったのかよくわからない。自転車で通学されている中学生の歩道整備もなかなかままならず、志和中学校がきれいになるのはよくわかるが、歩道整備が進まない。湯谷線は13億円かかるが7千万円が志和の予算。どう考えても気が遠くなる年月を要する話。ヘルメットぐらいは10割補助にしてほしい。全体で1400人となっているが、整備されていない通学路を利用されているお子さんの厳しい環境やそういうことも考慮に入れて基準を考えて欲しい。部局内の基準なのか市全体の基準なのかどこの基準かわからないが、いつ頃決まったのか。

神笠課長 市の要綱が平成23年に制定されており、そのあたりから7割補助となっている。

【子どもたちの理科系教育分野への興味・関心醸成について】

- 岩崎分科員 理科系教育分野に関する予算が2/3となっているが、なぜか。
小川次長 科学の芽育成講座等の活動を焦点化したためである。
- 岩崎分科員 展開及び事業を縮小したということか。
小川次長 広島大学と連携する中で焦点化して取り組むこととした。
- 岩崎分科員 理数系教育分野の重要性についてどう捉えているか。
小川次長 重要な分野と捉えている。令和2年度は小学校6年生理科の電気の単元で使用するプログラミング機器を購入したが、令和3年度は購入しないため、500万円の減額となっている。
- 岩崎分科員 もう一度答弁を整理してください。
小川次長 まずは、プログラミング機器のための減額。そして、科学の芽育成講座等の活動を焦点化したということである。
- 岩崎分科員 事業としては、一定のボリュームはあると考えてよいか。
小川次長 内容については充実しているので、ボリュームは変わっていない。
- 大道分科員 「目指せ！未来のノーベル賞 科学の芽成長プロジェクト」の講師は誰か。
小川次長 広島大学の教授に依頼している。今後も依頼を検討中である。
-

【健康診断について、教職員の休職について】

- 谷分科員 健康診断に関わる医師が足りているのか。耳鼻科医が足りないから内科医で何とかしているということであったが、来年度はどうなるのか。
神笠課長 耳鼻科医については小学校1年、3年、中学校1年、幼稚園年中、眼科医については小学校1年、中学校1年、幼稚園年中という健診体制をとっている。本来であれば全ての学年で健診を実施すべきところであるが、専門医が少ない現状があるため、今後医師会と全ての学年で健診ができるように連携していく。来年度は厳しい状況にあるため、今年度と同じ状況になると考えている。
- 谷分科員 拡充はされているのか。
神笠課長 拡充はしていない。
- 谷分科員 コロナ禍で耳鼻科医も廃業することが発生している。医師会との連携と言われるが、医師会に耳鼻科の医師がいなければ、その他の方策を考えるべきなので検討してほしい。
神笠課長 市内教職員の休職者数と復職者数がわかれば教えてほしい。
- 牛尾分科員 今年度の病気休暇又は休職者数について、今年度の小学校は病休5名、休職者4名、全体で9名。中学校は病休4名、休職者3名、併せて7名。
神笠課長 病休の中にも精神疾患とかあるかもしれないし、一般的な病気の方もいるかもしれないが、休職者についてどのような対応をしているのか。
神笠課長 いろいろな要因で休職している場合がある。特に精神疾患でうつ病等で休まれている先生については定期的に病院に行っている状況で、学校長が定期的に電話等で状況を把握し、また、県教委とも連携し、その先生方の状況を把握し、復帰に向けたプログラムを県教委と相談しながら作成し、段階的に学校に慣れていただくような方法をとっている。
- 牛尾分科員 休職者数の増減についてはどうなのか。
神笠課長 休職者数では、病休・休職を併せて過去5年でだいたい10人前後で推移している。

休職に限って言うと、小学校・中学校ともに3人前後で推移している。

牛尾分科員 特に大きな変化はないことが分かった。推移を見守っていただきたい。

貞岩議員 学校保健推進事業の予算で、前年度9千6百万円が来年度1億3百万、7百万の増額の要因は何か。

神笠課長 主には新規採用教職員の増の影響で増えている。

貞岩議員 新規採用教職員の健康診断に係る費用の増額ということか。

神笠課長 健康診断時のそれに関わる消耗品の増もある。

貞岩議員 端的な予算内容の説明をしていただければと思う。

中川議員 休職者に関して、休職者がいるということは学校の先生が足りていない状況であるが、それに対して補充や充足はされているのか。

神笠課長 休職者のいる学校に対して、必ずしもすぐに配置できない状況もあった。校内体制の中で例えば小学校では専科の先生が学級担任に入るといったことをしながら、学校体制の中で何とか対応している状況。

中川議員 学校の先生が苦勞をしているということが地域の方からも声が上がってきている。コミュニティ・スクールを推進するのであれば、教育委員会からも要望を出して先生方の補充や対応をしていただきたい。

【学校給食費公会計化に伴う学校給食センターの運営について】

石原分科員 給食費公会計化に伴い、センターの運営に影響がでるのか。

鳴川次長 食材の支払いはこれまでどおりセンターで行う。給食費の徴収が、これまでの学校から市の業務となる。

石原分科員 給食費の徴収事務がなくなり、学校の負担は減る。未納金の事務はなくなるのか。

鳴川次長 給食費は学校で集めているが、3年度からは主に保護者の口座から振替納付となる、滞納整理も市で行う。

石原分科員 いままでの未納金もある。誰が整理をしていくのか。

鳴川次長 いままでは、センターごとに設置した運営委員会で予算決算審議を行ってきた。これまでの未納分についても、運営委員会で協議し、市へ引継ぎができるものとできないものを整理していくことになる。

石原分科員 運営委員会で方針を定め、整理していくものと理解した。

岩崎分科員 納入業者からの視点で公会計化に伴う影響はないのか。

鳴川次長 これまでも給食食材は、センターごとに業者登録を行い納入いただいていたが、公会計化においても市全体で業者登録するものとし、希望するセンターの物資納入を行ってもらうこととした。いままで登録していた業者は、すべて登録済である。

岩崎分科員 業者に事務手続き等、負荷がかかっているか。

鳴川次長 公会計化においては、市の会計ルールにおいて、価格決定、食材の審査等、契約方法を取っていく必要があるため、説明会等を開催しご理解いただいていると考えている。

岩崎分科員 地産地消を推進する視点でいうと遅れてこないか。方向性を担保できるのか。

鳴川次長 3年度においては、4センターの運営委員会を統合し、新しく市全体の運営委員会を設置する。その審議事項として地産地消の協議を進めていくものとする。また、野菜の仕入れなどの情報はJAと協議の中で必要数量との調整を図り、農林水産課とも連携をとって

る。

岩崎分科員

当市は、北部のリンゴから南部のミカンまで幅広い食材を生産しているが、今の話だと地産地消は後退していく要素しかないのでは。

國廣部長

食材については、入札、見積合わせ、特定随意契約などいろいろな手法を使って、また仕様書にも市内産の食材を指定するなど、まとまった産品が安定供給されるよう取り組んでいく。

谷分科員

大量生産、大量消費だけでなく、少量ながらも有機農法など特色ある取り組みをしている農家の支援、またそういう農家の生産意欲が増すような取り組みを協議してもらいたい。

鳴川次長

農家の応援という意味での取り組みとしては、今回、野菜の納入については、時期的な要因や天候の要因で価格変動が激しい食材なので、入札の際に、仕入れに対する加算率で入札できるようにした。これなら価格が高騰した場合も業者の負担が減るものと考えている。

谷分科員

先進地事例では、過去5年平均の価格設定のもとに買上する自治体もあるようだ。本気になって生産意欲が増す取組をしていただきたい。

池田議員

賄材料費だけで8億7千万円の予算増になっているが、予算増の理由は何か。

鳴川次長

小中学校の給食費に食数をかけたものを予算計上している。

貞岩議員

保護者が負担する給食費が賄材料費となるということだが、牛乳代は国庫補助があるか。補助を受けている食材の牛乳等は補助金を控除した額で保護者に負担いただいている。

鳴川次長

貞岩議員

食材の入札で価格が決定するが、落札した安い食材は市内産どうか担保がとれるのか。予算の範囲内での支出はやむを得ないところもあるが。

鳴川次長

国内産、外国産など確かに価格の差があるが、市内産を使用する場合は仕様書で指定する。また産地によって価格や品質に差がないものもある。取捨選択しながら地域産の食材を使っていく。

貞岩議員

地産とは市内産なのか県内産なのか。県内産も含めるのか。

鳴川次長

食材については、どれが市内産なのか県内産なのか両方把握している。

貞岩議員

地産地消という地産の率は、市内産限定なのか県内産も含んでいるのか。

鳴川次長

県内産と市内産両方である。

【教育支援者の配置について】

大道分科員

教育支援者が増員されているが、学校からの要望人数は何名か。

小川次長

教育補助員は小学校205名、中学校42名、学校教育支援員は小学校257名、中学校40名である。

大道分科員

どのような配置基準が決められているか。

小川次長

各学校から要望調書及び個別の指導計画を提出してもらい、必要かどうかを精査している。さらに、各学校を訪問して児童生徒の実態を把握し、配置を決めている。

大道分科員

各学校は困って要望していると思うが、配置がなければ、学校はどのような対応となるのか。

小川次長

特別支援教育一般サポーター、大学生サポーターを派遣し、支援をしている。

大道分科員

何人いるのか。

小川次長

学校の要望に応じて、配置している。

大道分科員

令和2年度は、何人か。

小川次長

12月末時点の一般サポーターは小学校9名、中学校3名派遣している。大学生サポータ

一は小学校へ6名派遣している。

- 大道分科員** すべてを要求通りにできないのは理解しているが、学校の要望に沿うよう検討してほしい。
- 谷分科員** 今後35人学級になると、教育補助員が少なかったりするののか。
- 小川次長 子どもが自立するために、支援者が本当に必要かどうかを見極めることが必要であると考え。そのことを踏まえ、配置について今後も検討していく。

【学校運営協議会の設置について】

- 石原分科員** 学校運営協議会は、徐々に各学校で設置されており、最終的には令和6年度を目標に、全校設置ということになるのであろうが、学校から設置の意向があれば、対応するという方針も出ている。学校は、教育委員会の方針を計画的に進めるにあたり、学校はどのように地域と協議を行い、事が進んでいるのか教えてほしい。

本岡参事 コミュニティ・スクール設置については、本年度リーフレットを作成し、その中で設置計画も示し、令和6年度に、市内全校設置することとしている。ただし、本市としては、ただ学校運営協議会を設置すればよいとは考えておらず、いかに「地域とともにある学校」として、協働体制が機能していくかということをお願いしたいと考えている。そのためには、まずは、委員となられる方に、その内容を御理解いただくとともに、学校も「地域とともにある学校」をいかにつくっていくのかというしっかりとしたビジョンを持つことが重要と捉えている。更には、PTA等の組織の在り方も、学校運営協議会を設置することにより大きく変化するものであるとも捉えており、教育委員会は、学校職員、学校関係者、地域住民代表者、保護者（PTA）への事前の研修の機会を十分に持てるよう努めているところである。

勿論、学校から設置要望があった際には、優先的に設置を図るよう計画を進めていくが、その際には、学校運営協議会が十分に機能するのか、各学校の状況を把握し、体制を整えた上で設置を決定していくつもりである。

- 石原分科員** それぞれの学校が、様々な仕掛けをしたり、地域と協議したりという所から学校運営協議会の計画が具体的に進んでいき、最終的に体制が整ったか教育委員会が見極めて学校運営協議会を設置することに至るといったことが分かったが、本市では第五次総合計画があり、学校は関係ないと思っていたとしても、地域住民としては学校を核にした地域づくりを進めてという思いを持ち、特に住民自治協議会の取組との関係も求められてくることかと思う。そうなる自治協の温度差も影響するのではないかと思う。そういう意味では、自治協を中心とした地域の体制が整っているところが早くコミュニティ・スクール導入も進むということになりそうである。大規模校や市街地にある学校は大変だと思われる。地域の関係者や住民自治の状況が大きな影響を及ぼすので、その状況も十分踏まえて学校運営協議会を設置するという事になるのであろうか。

本岡参事 議員の言われる通りであり、只今は、住民自治協議会との関係を例に挙げていただいたところであるが、例えば、河内町においては、住民自治協議会はたくさんある。その中で、河内小、河内中、入野小で一体的に学校運営協議会を設置しようというのが、河内町で描いている学校運営協議会のビジョンである。このように、様々な地域の状況が違う中であって、まずは、学校長が、当該地域においてどのような「地域とともにある学校」の方針をもつのか、そこをしっかりと持っておかないと、「住民自治協議会がこうやって来たから」、「地域がこういう望みを持っているから」という理由により、学校が地域の願いを

現するだけの仕組みになってしまう。それだけが、学校運営協議会の目的ではあってはならないと思っている。反面で、議員が言われた通り、地域の課題や目標について、学校を核とし、学校も解決に向けて参画していくことも、国は求めている内容であり、学校としてもあるべき姿だとも認識している。研修の場ではよくいう事であるが、それぞれの学校には、独自の地域との関わり方があり、必ずしも他地域の先行事例を準えれば良いというものではない。

しっかりと地域に出向き、地域の状況を知って、地域の実態に合ったコミュニティ・スクールの取組が進むよう努めているところである。

石原分科員 学校は地域にしっかり目を向けるとともに、学校長のビジョンが大切であるという事が分かった。しかし、学校長も異動によって変わる。そういう意味では、教育委員会がしっかりと方針を持って進んでいくことが重要であるとも思う。私個人は、コミュニティ・スクールに賛成なので、年々しっかりと教育委員会としての取組を進め、目標よりも早く全市的な導入が進むのも良いと考える。

【小中学校の就学支援について】

谷分科員 就学援助制度について、これまでどおりの支給額で受給者が増えるのか。

神笠課長 令和3年度については、新型コロナウイルスの影響で生活困窮世帯が増えると想定されることと、特別支援学級の児童生徒の増加により支出が増加すると考えている。

谷分科員 インターネットの情報で、学校でトイレットペーパーは無料で使えるが、女性の生理用品が家から揃えられず、学校を休むという事態が見受けられる。貧困の状況が潜在化していることがわかった。私たちも広大生に食料支援と合わせて、生理用品を一生けん命集めたのを支給しているが本当によろこばれる。だから小学校中学校の子どももそういう憂き目にあっているのではないかと考える。学校に来てもらえる環境や、そういう場づくりを女性の視点からみてもらって、何が足りないか聞いてもらいたい。増額ということなので、コロナウイルスの観点からだけではなくて、違う方面から探っていただきたい。

【電子百科事典について】

玉川議員 「未来の学びの推進」において、電子百科事典の小中学校への導入とあるが、どのような事典か。

小川次長 電子百科事典が一人一台のタブレットで使えるもので、写真、音声、動画等の内容も見る事ができる。小学校版、中学校版がある。中学校版は自分で検索し活用するが、小学校版はテーマ別のメニューから活用できるようになっている。学級担任とともに学校司書がその活用を支援していく予定である。

【長寿命化計画について】

田坂議員 学校施設の大規模改修で、本年度策定中の長寿命化計画に基づき、計画的に大規模改修を進めるとあるが、これは公共施設等総合管理計画の個別施設計画に当たるものか。また、策定は完了しているのか。

直井次長 この長寿命化計画は、管財課で策定中の公共施設等総合管理計画に基づき定める各個別施設ごとの個別施設計画となるもの。

文科省からも今年度中の策定を求められており、現在最終段階まで来ており、今年度内に

完了予定である。

田坂議員 川上小学校が老朽化しているという話もあったが、老朽化している校舎はたくさんあるが、新年度予算で9億円の減となっている。計画的でないという感もあるが、来年度以降、平準化していくのか。

直井次長 今年度策定する長寿命化計画の中で、建築年数や劣化度から総合劣化度を点数化し、点数の高い学校から優先的に大規模改修を進めていきたい。

来年度は、シートにある西条中、東西条小の設計を進め、翌年度から改修を進めていきたい。そして優先度の高い学校から、これを繰り返し、平準化を図りながら計画的に進めていきたい。

田坂議員 将来的には生徒数は減少すると思う。その時に学校を多用途に有効利用できるように、大規模改修にあたって設計しておくべきと思うがいかがか。

直井次長 学校にも大きい学校や小さい学校、また空き教室の有無も異なる。また、管理や警備の問題もあり、自由に教室を使うのは難しい面もあるが、大規模改修を行う中でコミュニティ・スクールの推進や、地域に開かれた学校づくりを考えていかなければならないと考えており、まずは、地域の皆さんがどういう目的で学校を利用したいのか、その目的を聴きながら、必要であれば必要なスペースの確保などを検討していきたい。

【学校給食レトルトカレーの商品化について】

玉川議員 給食のカレーをレトルトで商品化 1800食とあるが、どのように進めるのか、また食数の根拠は何か。

垣田所長 施設開放イベントや生涯学習フェスティバルでの販売、各学校での行事食などの需要を見込んでいる。商品化については、製造委託する関係で最小ロットが 1800食なのでこれに合わせた食数としている。

玉川議員 1食あたりの金額は。

垣田所長 1食300円程度、PTA等へ販売をお願いする場合は販売手数料30円を見込んでいる。

玉川議員 カレー以外のメニューを商品化するつもりはないか。学校給食の宣伝にもなる。

垣田所長 カレーが市民の方から好評であれば、東広島ブランドとしても取り組みができると考えている。食育の視点で言えば、給食はうす味だけどカレーのコクがありおいしいという理解が家庭にも広がればよいと考え、まずはカレーをスタートさせていただきたい。

玉川議員 しっかりとその認識が広がるようよろしくお願いします。

坂本分科員 毎日、SNSで給食のメニューが情報発信され非常に楽しみにしている。これからも引き続きお願いする。

【自由討議】

谷分科員 子どもを取り巻く教育の在り方は、きめ細かな指導体制だと思う。

岩崎分科員 学校のインターネット環境は、前回の審議で快適に使える設備を予定しているという答弁であったが、実際はそういう環境になっていない。その辺り注意して審査していく必要がある。

石原分科員 岩崎分科員と同じく、もう試行でやっていく段階ではない。徹底してやってもらいたい。トラブルが起きた場合は対応できるように、その予算を当初で組んでいないのであれば補正対応するなどやっていく必要がある。

【図書館以外での IC システムの活用について】

牛尾分科員 図書館環境整備について、来年度 IC システムの導入を行うことで、例えば、駅などでの本の返却や貸出などの活用が考えられると思うが、導入後の今後の活用方針等についてどのように考えているのか。

細谷次長 当面、来年度については IC システムを導入し、主要な図書館に自動貸出・返却を予定している。IC システムを活用した、駅や利便性の高い場所へのサービス展開などは今後考えていきたい。

牛尾分科員 便利なことだと思うので、今後は是非検討いただきたい。

【志和市民グラウンドの照明の撤去について】

石原分科員 志和市民グラウンドの照明解体設計について、グラウンドを寄附されて、元から照明が設置されているが、使用しないということになったかと思う。今回の撤去はどのような理由で行うものか。

丸山次長 志和市民グラウンドの照明施設については、寄附を受けた時点で老朽化しており、不具合も生じているため、寄附時点から使用していない。放置を続けても、老朽化が進む一方であるため、解体・撤去するもの。

石原分科員 ニーズによって当分照明を使用しないものかと思いをしていた。老朽化、不具合により撤去することだが、グラウンド利用者の照明を含めたニーズはどのようなものか。

丸山次長 志和市民グラウンドについては、主に土・日曜日が予約で埋まっている状況であり、軟式野球のリーグ戦が主な利用となっている。

石原分科員 想像ではあるが、照明施設が今まで存在しており、知らない人は照明が必要な時間帯でも使用が可能なのではないかと感じていたと思っているのだが、照明についての利用者のニーズはどのようなものか。

丸山次長 ナイター利用できるスポーツ振興課所管施設としては、八本松市民グラウンド、テニスコートを含めて黒瀬市民グラウンドなどがある。ナイター照明の現状については、仕事の終わったサラリーマンの方等の利用ニーズがあると把握している。

石原分科員 志和市民グラウンドについては、照明利用ができないと認識の上で利用者が使用しているため、照明に関する要望がないということでしょうか。

丸山次長 ご指摘のとおり、志和市民グラウンドのナイターに関する利用者からの要望は伺っていない。

石原分科員 スポーツ振興課としては、市民のスポーツ振興に寄与するためにこのようなよい施設をいただいたのに、照明の整備まではする予定はないということで、だから今回も解体・撤去を行うということだと理解させていただく。

関連【志和市民グラウンドの進入路の改善について】

谷分科員 志和市民グラウンドの使用頻度が高いとのことではあるが、進入路について来年度の改善計画に入っていない。出入りについての運用改善について、今後、建設部との連携はあ

るのか。

丸山次長 進入路が狭いということは認識している。市道という位置づけとなり、拡張することとなれば周辺の地権者の問題や地元の理解も必要なため、利用者の声や関係部局の意見を伺いながら、検討をしていきたいと考えている。

【中央図書館におけるカフェコーナーの拡充について】

牛尾分科員 中央図書館の館内ゾーニングの見直しについて、カフェコーナー増設とあるが具体的な実施イメージは？

細谷次長 中央図書館の屋外にテラス席を設置し、そこでは飲食を認めたいと思っている。

牛尾分科員 例えば、兵庫県の豊岡市では屋外席用のブランケットなどが貸出されている。外で読みたくなる本などの紹介もされている。色々と参考になるので、是非先進事例として見学に行ってもらいたい。

関連【中央図書館における10代、20代向けエリアについて】

大道分科員 中央図書館の10代20代エリアの整備とは具体的には？

細谷次長 図書館利用の課題として、中学生になってから20代の間の利用がかなり少ないということが課題認識されている。これに対して、中央館1階の吹き抜けに10代20代エリアを整備したいと考えている。

大道分科員 現状では吹き抜けエリアはどのように利用されているのか？

細谷次長 現状ではここが乳幼児用エリアとなっているが、他の利用者から「子どもがうるさい」という声もあり、乳幼児の保護者からも「子どもづれで利用しづらい」という声がある。今回、中央館1階の「おはなしの部屋」を乳幼児ルームに改修することで、乳幼児の保護者に気兼ねなく利用していきたいと思っている。

大道分科員 整備する乳幼児ルームの広さはどの程度か？

細谷次長 現状おはなしの部屋としている場所で面積は約50㎡である。

大道分科員 来年度はこの程度の改修ということであるが、小さい子も多い地域なので、子どもの集まる場所としての位置づけもあるので、今後も検討してもらいたい。

細谷次長 今後とも利用環境については検討していきたい。

関連【図書館の在り方について】

牛尾分科員 最近の図書館はにぎやかでも良いというものもある、利用する側の意識の変化もある。時間や曜日を区切って、にぎやかにしてよい時間を設けたりもしている。生涯学習課としては、今後の図書館の在り方についてどのようにお考えか？

細谷次長 図書館の利用の在り方としては、たくさんの方が利用できるよう、利用者同士で他の方の迷惑でないような利用を求めていきたいと思う。

牛尾分科員 一般常識として図書館は静かな場所という意識が以前からあるが、もっと多様な利用の仕方など、検討してもらいたいと思う。

【図書館の利用情報の管理について】

谷分科員 図書館の貸出カード（登録情報等）の管理について今の状況はどうなっているか？

細谷次長 利用登録情報のセキュリティは漏れないよう対策はしている。

谷分科員 他市では個人情報漏洩があるようなので、気を付けてほしい。
細谷次長 気を付けます。

【オリンピック事前合宿の現状について】

大道分科員 オリンピックメキシコ選手団の事前合宿について、今日現在、どのような状況であるのか。

丸山次長 メキシコ事前合宿の現時点の状況については、広島県の枠組みの中で準備を進めているものであり、今月中旬、広島県とメキシコオリンピック委員会がコロナ禍において事前合宿をどのように行うかという詳細な会議を行うと伺っている。現時点では、当初の計画通り、コロナ対策を行いながらの受入れをするための予算をお願いしているところである。

【文化財施設の集約について】

岩崎分科員 文化財収蔵庫及び歴史民俗資料館の集約に着手するとあるが、これはどのような事業か。
石井課長 新文化財センターの整備については、本年度で閉校する福富町の久芳小学校の建物を利活用し、分散している収蔵庫と資料館を集約するとともに、展示機能の充実を図ることを計画している。

安芸津歴史民俗資料館は集約の対象とはせず、豊栄町民俗資料展示室と河内町民俗資料展示室については、現在展示していない収蔵庫内の非公開資料を集約の対象とし、展示室は地域センターに残すこととしている。

岩崎分科員 市北部の施設はある程度集約するということで良いか。

石井課長 安芸津歴史民俗資料館を除いた、西条町などを含めた市北部の関連施設を集約することとしている。

関連【文化財施設の集約される場所の跡地活用について】

大道分科員 対象となる集約施設の位置と、集約後の跡地活用について教えてほしい。

石井課長 集約の対象となる施設の位置については、資料館が八本松歴史民俗資料館と三永歴史民俗資料館、収蔵庫が志和の免山第一・第二文化財収蔵庫と冠文化財収蔵庫、展示室は宇山地域センターの河内町民俗資料展示室と、安宿地域センターの豊栄町民俗資料展示室、そして文化課調査係の事務所でもある河内町の出土文化財管理センターである。

それぞれの跡地活用については、八本松歴史民俗資料館は隣接する美術館と同様に解体する予定だが、その後の土地利用については現在のところ考えていない。三永歴史民俗資料館については、資料館の建物が民俗資料として大変価値のあるものなので、久芳の新文化財センターに移築する予定としている。跡地については三永小学校の土地なので、小学校にて使っていただくこととなる。

志和の3つの収蔵庫については、建物が老朽化しているので、解体撤去後、土地の活用については全庁的に検討していくこととする。

河内の出土文化財管理センターについては空き施設となるため、庁内で他に使いたいところがあれば、移管する等のことを考えている。

【生涯学習講座の広報について】

- 牛尾分科員** 生涯学習の講座（主催講座）の広報や周知はどうしているのか？
- 細谷次長 市の広報紙や SNS を活用したり、講座の情報が載っている冊子を作成して市内のセンターや病院、金融機関等に設置して周知を行っている。
- 牛尾分科員** 「東広島きんサイト」もあるが、わかりにくい。年間何人くらい講座に来るのか？
- 細谷次長 年間 71,000 人余の方が受講されている。
- 牛尾分科員** 例えばカレンダー形式に整理するなど、なるべく見やすい方法で多くの市民に周知してもらうようにしてください。
-

【放課後児童健全育成事業の事務移管について】

- 岩崎分科員** いきいき子どもクラブの中に、発達障害に対するスーパーバイザーが移管されてくる。小学校就学前の子供もいると思うが、教育委員会としての考えは。
- 大畠部長 具体的な事業の内容は、十分に引継ぎを受けていない。
スーパーバイザーについては認識不足で、今後勉強させていただき、具体的な対応や取組を明確にしていきたい。
-

【市史編さんについて】

- 大道分科員** 市史編纂事業について。10年間の事業計画になっているが、どのような内容になっているのか。
- 石井課長 町史はあるが、市史を通観できるものが無いことから本事業を計画した。近現代、近世、中世部会等分野別の9つの専門部会を設置することを計画しており、各部会の進行スケジュールを勘案して約10年でと考えている。
- 大道分科員** 町史や村史が全く無いという地域はあるのか。
- 石井課長 町史村史が全く無いという地域はないが、例えばそれぞれの町史（町誌）や村史については、内容や項目が異なり、町村史のボリュームに差があるなど、詳細についてバラツキがあるのが実態である。
- 大道分科員** 各地域の調査をしっかりと行い、一年でも二年でも早く市史が発表できるように努めてほしい。
-

【八本松市民プールの跡地活用について】

- 谷分科員** 八本松市民プール解体後の跡地及び今後解体される歴史博物館の跡地は合わせると、まとまった土地となると思われるが、管財課へ移管してどのように活用していくのかについて、所管課としてどのように市民から意見聴取して有効活用していくのか。
- 丸山次長 八本松市民プール解体後の跡地は、区画整理事業の中で調整池となる計画である。
-

【来年度の美術品購入について】

- 大道分科員** 美術品購入費について、その詳細は。
- 石井課長 東広島市、広島県にゆかりのある陶芸作家等の作品を収集する予定。その他、地元に関連のある作家の作品を中心として良いものがあれば検討していきたい。
-

【スポーツ振興業務の委託について】

田坂議員 スポーツ振興業務の委託について、体育スポーツなどの振興に関する情報収集、調査研究並びに情報提供、生きがい健康体育大学や各種スポーツ教室の開催、スポーツに関する備品用具の貸出業務等を教育文化振興事業団に委託するとあり、とても良いことだと思われるが、市民に周知されていないのではないかとと思われる。せっかくこのような良いことがあるのだから、市民により周知していくべきではないか。

丸山次長 ご指摘通り、市民に対する周知は不十分である。事業団との協議を進めて、市民への周知を図り市民により有効活用してもらえよう進めていく。

【市民文化センターの指定管理業務について】

田坂議員 市民文化センターの指定管理によって、そのような事業が実施できているのか。

細谷次長 施設の貸出、維持管理について、指定管理業務をお願いしている。生涯学習事業については、別途、委託という形をお願いしている。指定管理業務の内容としては、単に施設の貸出のみで委託することではないことが分かったので、その他については、来年度、再来年度以降の指定管理に向けて内容を検討している。

田坂議員 民間の活力を借りるという指定管理の目的があると思う。指定管理者の新規募集の際に、配慮していただければと思う。

【自由討議】

谷分科員 図書館における指定管理者制度導入のメリット・デメリットを明らかにしてもらいたい。

牛尾分科員 今後の図書館の在り方、各館の機能分化や中央館の役割など検討してもらいたい。

岩崎分科員 組織改革に伴う事務移管など、円滑な事務の移譲を行ってほしい。また、事業の考え方も含め、継続して行ってほしい。